

## ⑯北一色若宮地線

## 路線の概要

## 現在の計画

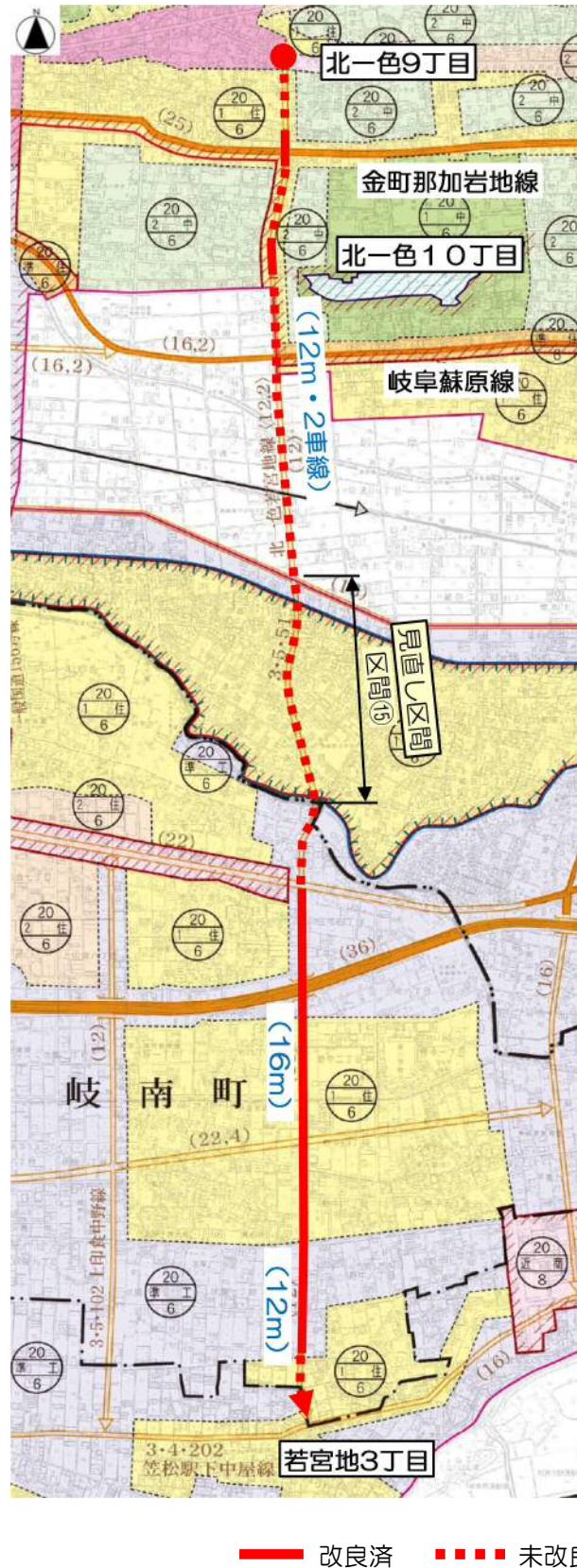
○北一色若宮地線は、昭和21年の戦災復興都市計画において岐阜市西部郊外部の南北方向の幹線街路として決定されました。

○その後、延長や幅員等が変更され、現在は北一色9丁目～岐南町若宮地3丁目を起終点とし、計画延長4,470m(うち岐阜市域2,470m)、標準幅員12m、2車線の幹線街路として都市計画決定しています。

## 整備状況

○金町那加岩地線との交差部付近の一部と、北一色10丁目的一部分で改良済です。

○その他は未改良で、見直し区間より北側では現道がありますが、見直し区間はほとんど現道がありません。



## 見直しの理由・内容

## 路線の主な役割・機能

○岐阜市南東部と岐南町を結ぶ南北方向の補助幹線街路として、地域内の幹線道路を連絡する機能が求められていましたが、周辺の交通状況の変化により、現在岐南町とのネットワークは国道156号等の並行路線が担っており、当路線は岐阜市南東部の地域内を連絡する機能に変化したと考えられます。

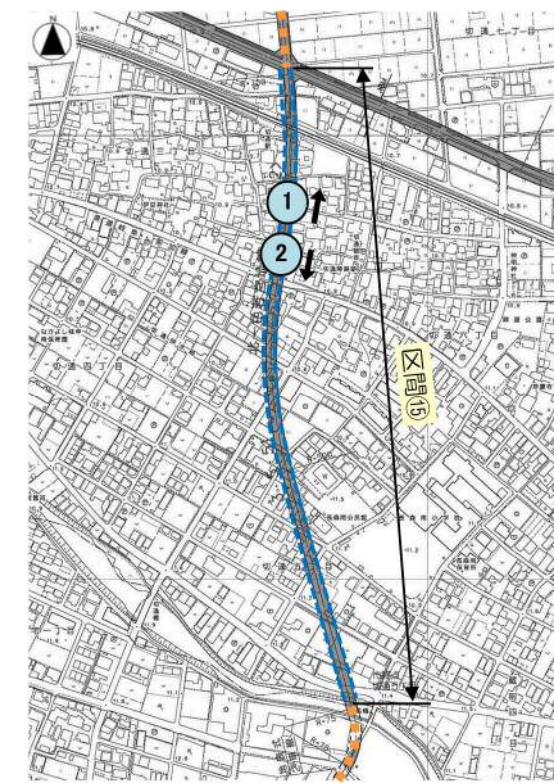
## 見直しの理由 廃止

## 交通機能の変化

○当初の計画決定から長期間が経過したため周辺の交通状況が変化し、現在岐南町とのネットワークは国道156号、左兵衛新田米野線等の周辺路線が当区間の機能を充足しており、区域内の道路の機能は現道で十分と考えられるため、幹線道路レベルでの整備の必要性が低下したと考えられます。

○将来交通量予測によると、当区間を廃止しても、周辺道路への影響はほとんどなく、現況のネットワークでも対応が可能であると考えられます。

## 沿道市街地の状況



## 周辺路線の状況

